

事業所名	放課後等デイサービス ライトハウス
------	-------------------

公表日 令和 7年 2月 17日

		チェック項目	はい		いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		2	利用定員に対してのスペースは十分だと思う。 利用人数や活動内容に応じて部屋の使い方を 変えている。	個室利用希望の子がいる場合、遊びのスペース確保が難しい。 定員10名であるが、10名利用するとクールダウンの空間を確保できずに狭さを感じる。 一般住宅の利用なので仕方ないが、ホールのような広い部屋があればよい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		1		人員配置基準(1:5)は満たしているが、目が届かなくなるので、職員を増員している。 部屋数が足りていない。 基準通りだが、職員数はもう少し多いほうが良い。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		1	助成金を講じて、バリアフリー化を進めている。 助成金を使って設備を整備している。 助成金をいただいて駐車場の舗装、カーポートの設置、トイレの水洗化ができた。 トイレが新しく整備さえ、より利用しやすくなった。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			医ケアの空間は手狭で、雑然となりがちであるが、消毒、整理整頓を心がけている。 毎日の消毒や清掃などで、生活空間を清潔に保てるよう配慮している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			状況に応じて個室で過ごせるように配慮している。 子供の子供の特性、その時の状況に合わせて臨機応変に対応できるよう環境が整えられている。	個別の場所を提供できるようにはしているが、応じられる部屋数が決まっている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5			月1回のミーティングの他、職員同士で日頃から声を掛け合い確認するようにしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			毎年保護者に評価してもらい、その結果を職員で共有し、改善策を考えている。 保護者にアンケートを実施したり、保護者会を開催するなどしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			毎月の定例会。それ以外にも気になったこと等は日常的に共有できている。 月1回のミーティングを行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5				
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			法人のHPに公表されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6				アセスメント表があってもいいかもしれない。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		1	保護者のモニタリングを通して、支援の評価、振り返り、次回計画への意見を共有している。 職員間でのコミュニケーションを図り、情報共有をすると共に、支援員もサービス状況の振り返りを行っている。	検討するための会議の記録をしっかりと残すことが必要。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			保護者に検査結果を共有してもらっている。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		R6年度に改正されたガイドラインに基づき、支援を提供するようにしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		毎月、職員間で話し合って内容を決めることができている。 医ケアの子も参加できるように工夫、配慮し、立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		過去の活動内容を振り返り、新しいものを取り入れるようにしている。 季節の行事などを積極的に取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		集団活動の内容、時間を視覚表示することで、活動にメリハリをつけられるようにしている。 医療的ケアと活動時間が重ならないように調整している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		打ち合わせは行っていないが、必要に応じて活動内容の確認や利用児の様子、その日の出来事を共有できている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		打ち合わせは行っていないが、必要に応じて活動内容の確認や利用児の様子、その日の出来事を共有できている。 特に会議等を設けないが、職員間で情報交換する時間を設けている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	昨年度よりは個別支援記録をとれている。 ソフトウェアで記録を管理している。 適宜、情報共有できていると思う。	長期休みなどにものが出ている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		日常の些細なことから自己選択できるよう配慮している。(宿題をする時間、遊ぶ場所、掃除する場所)		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		下校時は、先生方と情報を共有している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		必要に応じて管理者が連携をとってくれている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		就学前の会議に参加することができている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	今年は該当者なし。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2		現在、地域に児童発達支援センターがない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		機会がない。 今後、児童館との交流などを増やしていきたい。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	6			
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		連絡帳を活用したり、送迎やお迎えのときに会える保護者には直接話すことができている。 送迎時での保護者との対話。		

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		研修の情報が少ない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		変更などがあったときは、お便りを出したり直接説明したりしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		モニタリングのときに聞くことができています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1		相談には応じているが、適切な助言ができていないか分からない。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	今年度初めて保護者の集まりを開催。次年度も続けていきたい。	定期開催にすることが課題。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8			SNSの活用が今後の目標。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		一人一人の理解力に合わせて伝え方を工夫している。おめめどうのツールを利用。対面、書面に残す等。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		次年度は検討したい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		保護者への周知をしているか分からない。訓練の仕方が今後の課題。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1		備えはしているが、訓練は十分ではない。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			服薬の内容を定期的に確認することが必要。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		どのように周知するものなのか分からない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6				